

ドイツのビジネスジェット市場と地域空港の可能性

ドイツデスク CROSSBIE GmbH 山本 知佳
(本記事執筆 CROSSBIE GmbH 船橋 珠緒)

今年4月、神戸空港に国際チャーター便が解禁されます。関西圏の地域経済活性化に繋がる大きな一歩としてアジアとの交流拡大への期待が高まっています。本稿では、欧州最大のチャーター便市場であるドイツから、ビジネスジェット市場の動向をご紹介します。

1 グローバル化する中小企業と富裕層の需要が牽引

世界のビジネスジェット市場は、富裕層の増加やビジネスのグローバル化を背景に、力強い成長を続けています。2024年には459億ドル規模だった市場は、2032年には669億7000万ドルに達すると予測され、年平均成長率は5.4%と見込まれています。その中でもドイツはヨーロッパ最大のチャーター便市場であり、現役稼働機体数の18%を占める重要な拠点です。

ドイツ経済の特徴のひとつは、高い技術力と国際競争力を持つ中小企業の存在です。これらの企業はグローバル展開を加速させており、効率的な移動手段としてビジネスジェットへの需要が高まっています。

また、ドイツの超富裕層は2022年から2023年にかけて1.1%増加し、29,021人に達しました。特にCOVID-19パンデミック以降、感染リスクを回避できる移動手段としてプライベートフライトの需要が拡大し、この傾向はパンデミック後も継続しています。

こうした需要に応えるため、ドイツの大手航空会社は最新鋭機の導入を積極的に進めています。欧州全体では2023年から2030年の間に約1,244機の新規納入が見込まれており、その中でもドイツは主要な市場として位置付けられています。



ハーンエア(本社:ドイツ、ドライアイビ)は2023年10月、テキストロン・アビエーション社の新型機「セスナ・サイテーション CJ3+」の欧州ローンチカスタマーとなりました。©Hahn Air Lines GmbH

2 シェアリングエコノミー：所有から利用へ

従来の企業や富裕層による単独所有に加え、近年ではシェア(共同所有)という選択肢が急速に普及しています。これは、航空機を複数の所有者で共有することで、初期投資や維持費の負担を大幅に軽減し、より幅広い層がビジネスジェットを利用できるようにするものです。ドイツでは様々な分野でシェアリングエコノミーが浸透しており、ビジネスジェット市場でも多様なシェアサービスが登場しています。主なサービス形態は以下の4つです。

- **タイムシェア**：航空機の利用時間を複数の所有者で分割。
- **ジョイントオーナーシップ**：複数の所有者が航空機を共同保有し、コストを分担。
- **フライトシェアリング**：特定目的地へのフライトを複数の利用者と共有。
- **ジェットカード**：事前支払いで必要に応じて航空機を利用できる会員制サービス

デジタル技術の進歩により予約や管理の利便性は向上していますが、利用時間の調整や所有者間の合意形成、メンテナンス、セキュリティの確保など、運営面での課題も存在します。



高付加価値サービスなどの周辺ビジネスも発展。画像はプライベートジェット利用者向け有料コミュニティ「Private Jet Community(本社:ドイツ、ベルリン)」より©Air2E GmbH

3 地域空港の変容：ビジネスハブとしての役割

ドイツには、フランクフルトやミュンヘンなどの国際ハブ空港に加え、地域経済と密接に連携した空港が数多く存在します。例えば、自動車産業が集積するシュトゥットガルト空港、化学・製薬産業が集積するフランクフルト・ハーン空港、中小企業が多い地域へのアクセスに便利なドルトムント空港などが代表例です。

これらの地域空港は、混雑の少なさと手続きのスムーズさから、ビジネスジェットの利用に適しています。特にシェアリングエコノミー型の利用では、地域空港の利点が最大限に活かされ、コスト削減と利便性向上を両立しながら、地域経済への貢献も期待できます。

4 環境技術がもたらす市場の進化

環境への配慮が不可欠となる中、持続可能な航空燃料(SAF)の導入、電動航空機や水素航空機の開発、運航効率の改善など、環境負荷低減に向けた取り組みが加速しています。また、ドローンタクシーやeVTOL(電動垂直離着陸機)などの新技術は、都市部と地域空港間の移動を効率化する可能性を秘めています。EUの排出量取引制度(ETS)なども考慮しながら、技術革新と持続可能性の両立を目指して、ドイツのビジネスジェット市場は今後も変化と成長を続けていくでしょう。

【参照記事】

ビジネスジェット市場規模、シェアおよび業界分析、2024～2032年(2024.12.23, Fortune Business Insights)

<https://www.fortunebusinessinsights.com/jp/%E6%A5%AD%E7%95%8C-%E3%83%A3%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88/%E3%83%93%E3%82%B8%E3%83%8D%E3%82%B9%E3%82%B8%E3%82%A7%E3%83%83%E3%83%88%E5%B8%82%E5%A0%B4-101585>

欧州プライベートジェットチャーター市場規模・シェア分析 - 成長動向と予測(2024年～2029年)(Mordor Intelligence)

<https://www.mordorintelligence.com/ja/industry-reports/europe-charter-jet-services-market>

欧州ビジネスジェット市場規模・シェア分析 - 2030年までの成長動向と予測(Mordor Intelligence)

<https://www.mordorintelligence.com/ja/industry-reports/europe-business-jet-market>

【画像引用元】

Factsheet Cessna Citation CJ3+

<https://www.hahnair.aero/wp-content/uploads/2021/05/Factsheet-Cessna-Citation-CJ3-Hahn-Air-Lines-DE.pdf>

Private Jet Community

<https://privatejetcommunity.com>

ひょうご海外ビジネスセンターは、世界10カ所に海外展開現地相談窓口として「ひょうご国際ビジネスサポートデスク」を設置しています。本通信は、毎月1回、各デスクから寄せられる現地トピックスを順にお届けするものです。